

< 報道関係各位 >

2002年1月22日

遊びのパイオニアを目指して・・・ 玩具メーカーが提案する夢の新生活提案
ラジオコントロール飛行船「SKY SHIP」 & 電気自動車「Q-CAR」シリーズ
新発売のご案内

株式会社タカラ

株式会社タカラ(代表取締役社長:佐藤慶太/所在地:東京)は、玩具メーカーの「遊び心」を独創的な視点と発想で開発した、ラジオコントロール飛行船「SKY SHIP」と、玩具メーカーならではの遊び心で提案する、電気自動車「Q-CAR」シリーズの2つの新商品を提案いたします。

これらの商品はいずれも、当社が昨年より展開してきた、「玩具を中核としたライフエンタテインメント企業」を目指す企業方針の中で新事業として企画開発されたものです。子供だけでなく大人にとって、また地域や企業そして、社会全体に“玩具メーカーが作り出す夢”や“逆転の発想”から創造された新市場で、多くの人々の心に活力を提供する・・・そんなきっかけを提案していくのが、タカラの玩具メーカーとしての社会的使命と考えおります。

「玩具」の原点でもある、誰もが心ワクワクさせるような夢や憧れ、そして、人に対する優しさや癒しというようなテーマを玩具発の新しい視点とコンセプトで提案してまいります。

2002年タカラは、さらに“夢を持ち、それを叶えていく玩具メーカー”としてこの夢を共有する新たなパートナー企業と共に、社会を明るく元気にする企業活動を展開してまいります。

今回タカラが提案する2つの夢のテーマは、部屋の空間を利用した“大人の心を癒す遊び心”と玩具メーカーの視点から提案する“環境に優しい遊びこころあふれる車”です。

1つめは、生活の中のさりげない“空間”を利用して、“癒し”や“安らぎ”の時間を提供する、室内用ラジオコントロール飛行船「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」です。空中散歩をしているかのようにゆっくり浮遊する飛行船を、自分の思いのままに自由自在にコントロールすれば、大空への夢や憧れを室内で手軽に実現することができます。ゆったりとした時間の中で、これまでにない“やさしい大人の遊び心”を満たす商品です。

2つめは、おもちゃの車から街に飛び出し、またひとつ大人の夢をかなえた「Q-CAR」シリーズです。これは、玩具メーカーが企画・製造・販売する環境に配慮した自動車として、当社のオリジナルコンテンツであるミニカーをモチーフに「チョロQに乗ってみたい」という夢を、未来の車「電気自動車」で実現するものです。

タカラは持ち前の“遊び心”あふれる発想で、様々な夢を実現するため、異業種とのコラボレーションを積極的に推進し、今後も市場の創造・開拓を図ってまいります。

室内で自分だけの「飛行船」を、思いのままに操縦する……

ラジオコントロール飛行船「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」

株式会社タカラは「空間」への憧れを玩具の世界で実現する、室内用ラジオコントロール飛行船「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」(発売予定価格9,800円/税別)を、2002年3月30日から全国一斉発売する予定です。

当社では昨年より大人をターゲットに、子供の頃に夢見ていた憧れを玩具の世界で形にする「DREAM FORCE」(=夢の力)をシリーズ展開しています。昨年、第一弾として操縦型2足歩行ロボット「DREAM FORCE 01」(49,800円/消費税別)を発売し、「ロボット」に対する夢や憧れを形にしました。その第二弾として今回は、空間をテーマとした「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」を発売いたします。

空を飛ぶ乗り物には、飛行機やヘリコプター、気球などがありますが、その中でも「飛行船」は、騒音も無く滑走路を必要としないので自然環境に優しく、また球形の船体やゆったりとした速度が、まるで空中散歩をしているような夢とロマンをあたえてくれます。今回、空間をテーマに夢や癒しを提案するコンセプトから、子供から大人まで世代を超えて長く親しまれてきた、懐かしくて新しい「飛行船」に着目し、室内で手軽に楽しめる商品として企画・開発いたしました。

「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」は、全長が約90センチの室内用のラジオコントロール飛行船です。本体の素材は「エパール」という特殊素材で、また内部には本物の飛行船同様、安全なヘリウムガス(約70リットル)を使用し、このヘリウムガスにより室内を浮遊することができます。

そして本体ゴンドラ部には、プロペラを左右それぞれひとつずつ搭載、このプロペラがそれぞれ独立回転して上昇・下降を可能にし、上下左右すべての方向に、自由自在にコントロールすることができます。これらのコントロールは全3チャンネルのコントローラーで行います。操縦可能な距離は約10メートルです。

また、「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」の遊びの世界を十分お楽しみいただくため、本体のバッテリーには持続性の高いニッケル水素電池を採用し、これにより、10分の充電で約15分の飛行を可能にしました。

「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」は、飛行船として魅力ある3タイプのデザインを今春発売いたします。

実機タイプ第1弾「グラーフ・ツェッペリン号」

実際に建造され飛行した史上最後の硬式飛行船、「グラーフ・ツェッペリン2世号(LZ130)」をモデルにデザイン。全長245m、乗員70名程度、時速125kmの豪華客船で、第二次世界大戦の歴史の中でも記憶に残る飛行船です

ポップアートタイプ第1弾「レインボー号」

1973年、日本で2番目の民間飛行船として輸入された「レインボー号(JA1002)」は神戸での初飛行の後、約一年間日本中の空を飛び回り、多くの人々に驚きと夢を与えました。今回故・岡本太郎画伯が「レインボー号(JA1002)」をモデルにデザインし、アート性の高い作品に仕上がりました。インテリアとしても十分楽しめる飛行船です。

企業タイアップ「コラボレーション号」

今回「SKY SHIP」の企画にあたり、コンセプトに賛同いただいた様々な企業の夢をのせ、その企業のロゴを船体にデザインした飛行船。このデザインの大型ラジコンによる飛行イベントも今後視野にいれています。

<タイアップ企業（五十音順）>

株式会社インデックス / 江崎グリコ株式会社 / コナミ株式会社 / コンバース / ショウワノート株式会社 / 株式会社東芝 / 株式会社ドリームズカムトゥルー / 日本アニメーション株式会社 / 株式会社ハドソン

当社はこれまで玩具の世界で様々な夢や憧れを形にしてまいりました。

特に近年、子供の玩具だけにとらわれずあらゆる世代にとっての「遊び」を様々なフィールドで形にしてきました。1999年には、水の中で光を受けソーラーパワーで幻想的に浮遊する「アクアロイド」を開発・発売、日本国内だけでなく海外からも大きな反響を呼びました。水中と同様、空中は重力から開放された人間の力では想像のつかない夢多い世界です。そのために空中や空を自由に飛ぶことのできるものへの憧れはふくらみます。

今回、空に対する夢や憧れを、玩具の世界で形にする遊び心ある商品として「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」を開発し提案いたします。

当社は今後も様々な夢や憧れを、玩具メーカーならではの視点で企画・開発を推進してまいります。

<飛行船>

飛行船は1783年フランスのモンゴルフィエ兄弟が蒸気機関搭載の葉巻型飛行船により延べ27kmの飛行に成功し、その歴史が始まりました。飛行船には大きく分けて骨組み構造をもつ大型船「硬式飛行船」と、骨組み構造のない小型船「軟式飛行船」があります。

「硬式飛行船」は1900年にツェッペリン伯爵(ドイツ)が初飛行に成功したのが始まりでその後、次々と改良を重ね、1929年には世界一周を成し遂げました。

飛行船は上下方向にしかコントロールできない熱気球を自由意志で水平方向に推進させるための構造を備えた航空機です。熱気球の浮力はガスバーナーなどで温められた空気ですが、飛行船はエンベロープと呼ばれる船体にヘリウムガスを詰め、それによって浮力を得ています。

また、飛行船の飛行には「グランド・クルー」と呼ばれる数多くの支援部隊が携わっています。グランドクルーは飛行船にとって重要な存在で離着陸に直接関わる支援作業、係留中の24時間体制の飛行船の監視、保守などを行い、1隻の飛行船を飛ばすために総勢20数名の専門知識や技術を持つグランドクルーが活躍します。

<商品概要>

商品名

「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」 実機タイプ 「グラーフ・ツェッペリン号」
ポップアートタイプ 「レインボー号」
企業タイアップ 「コラボレーション号」

希望小売価格

「DREAM FORCE 02 SKY SHIP」 全タイプ 9,800円(予価/消費税別)

発売日 2002年3月30日を予定

商品内容 R/C飛行船本体・コントローラー・ヘリウムガス100リットル・手動ポンプ・保留マスト
*ヘリウムガスの補充は、市販のものをお求め下さい。

販売ルート 全国有名百貨店・全国有名玩具店 他

販売目標 シリーズトータル20万個

この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

株式会社タカラ 広報室

〒125-8503 東京都葛飾区青戸4-19-16

TEL:03-5680-2041 FAX:03-5680-8627

ここに誕生、“「チョロQ」 街を行く！！”

一人乗り電気自動車 「 Q - CAR 」 シリーズ

当社は、玩具メーカーならではの視点で、大人の為のエンタテインメント商品として、これまでにないコンセプトの新しい電気自動車「Q - CAR」シリーズを開発し、2002年2月に設立する新会社「チョロ Q モーターズ株式会社」より2002年秋の発売を予定しています。

これは、当社と、主にドイツ車の日本国内におけるチューニングを手がけるコックス株式会社(代表取締役社長:渦尻栄治・所在地:神奈川県)とのコラボレーションにより実現した夢のある商品で、当社の玩具メーカーならではの遊び心溢れる発想と、コックス株式会社の20年以上にわたるチューニング経験の実績と技術の蓄積により、これまでにない安全で楽しく夢のある車として提案するものです。

「Q - CAR」シリーズは、当社のオリジナルコンテンツであるプルバック式ぜんまいミニカー「チョロQ」のデフォルメ感を実車の世界で表現しました。環境にやさしい未来の車を「電気自動車」で再現したこれまでにない“遊び心”溢れる車です。クリーンで静かな一人乗り専用のため、近所や地域のシティコミュニケーターとして、ちょっとしたショッピングやお出掛けを楽しめます。昔チョロQで遊んで大人になったチョロQ世代や、トレンドに敏感な遊び心ある大人にとっては、「一度チョロQを運転してみたい」「今までにない新しい車に乗ってみたい」という夢を、おもちゃの世界を飛び出し実現することで、またひとつ夢を叶えることができます。

「Q - CAR」は最高速度60km/h(法定速度50km/h)で燃料に電気を使用する第一種原動機付自転車(4輪)で、充電は家庭用コンセント100Vから行え、約8時間の充電で約80kmまで走行することが可能なので、道路交通法上は、第一種原動機付自転車(4輪)になるため、運転に際しては普通運転免許が必要になりますが、車検・車庫証明・重量税・取得税は不要になります。

今回発表する「Q - CAR」シリーズは全2種類です。

Modern Times(仮)・・・“環境に優しい未来の車”をテーマに古き良き時代のモダンなテイストを、電気自動車
で再現。「Q - CAR」ならではのデフォルメ感で「街乗りカー」としてキュートで可愛い
らしいデザインに仕上げました。

2010(仮)・・・・・・・・・・・・・・・・・・“夢に描く未来のスポーツカー”をコンセプトに、スポーツカーの“カッコいい”デザ
インと「Q - CAR」の特徴であるデフォルメデザインを融合させることで、キュート
な「環境に優しいスポーツカー」に仕上げました。

1980年の発売以来「チョロQ」は“ちよろちよろ走るキュートくるま”をキャッチコピーに、独自のデフォルメデザインと強力なプルバックエンジンを搭載したミニカーとしてロングセラー商品となっており、現在では親子三世代に渡って愛されている大ヒット商品になっています。

当社では、ライフエンターテインメント企業を目指す中で、玩具メーカーならではの視点で“遊び”をテーマに玩具の枠にとらわれない様々な「夢」ある商品の企画・開発を積極的に推進しております。今後も玩具というフィールドだけではなく、様々な可能性を模索し、異業種とのコラボレーションによる積極的な市場創造を図ってまいります。

* 1・・・充電走行距離は定められた試験条件の下での値です。実際の走行時にはこの条件(気象・道路・車両・運転・整備・バッテリーの劣化・充電などの条件)に応じて異なります。

電気自動車とは・・・内燃機関自動車(一般のガソリンや軽油等で走行する自動車)から、燃料タンク・エンジン制御装置・エンジン・排気系などを降ろして代わりに電池・電動機・制御装置などを搭載した車両です。

大きな違いは、車両を走行させるための方法で、内燃機関自動車の場合はガソリン等の化石燃料をエンジン内で燃やして走行させているのに対し、電気自動車は電気をエネルギーとし、モーターを動力として走行させているところである。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社タカラ 広報室

〒125 - 8503 東京都 葛飾区 青戸4 - 19 - 16

TEL:03 - 5680 - 2041 FAX:03 - 5680 - 8627